

年間教授計画 2023年度 (4月～2月)

科目:小児看護論	クラス: 2年 G組 学科:医療事務科 コース:小児クラーク	担当:宮下	教科書:①臨床医学 I ②臨床医学 II	授業数: 2時間/週	年間授業: 60時間
----------	--------------------------------------	-------	-------------------------	---------------	---------------

授業概要:子どもの健康を阻害する様々な要因や病気について学ぶ。

最終到達目標:大人と子どもの身体的特徴や健康問題の違いについて比較できる。

月	週	大項目	中項目	到達目標	評価方法	使用教材	授業方法	
4月	1	オリエンテーション	・小児科問診票からみる病気の情報			・プリント配布	・講義	
	2	感染症	・アデノウイルス感染症 ・インフルエンザ ・流行性耳下腺炎 ・手足口病 ・麻疹 ・百日咳 ・風疹 ・ヘルパンギーナ	・細菌とウイルスの違いを簡単に説明できる		・臨床医学 I ・臨床医学 II ・プリント配布	・講義	
5月	3							
	4			・子どもと感染症の関係免疫の観点から説明できる				
6月	5		・水痘 ・溶連菌性咽頭炎 ・伝染性紅斑					
	6	感染症の予防	・ワクチンとは ・定期接種と任意接種 ・ワクチンの種類 ・予防接種の時期と回数 ブレテスト	定期接種で予防できる代表的な感染症を挙げられる		・臨床医学 I ・臨床医学 II ・プリント配布	・講義	
7月	7	前期まとめ			平常試験			
	8	前期試験	【出題範囲】 ・4月～6月の授業内容		前期試験			
9月	9	アレルギー疾患	・気管支喘息 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・アレルギー性鼻炎 ・アレルギー性結膜炎	アレルギー疾患を発症する代表的な要因を説明できる		・臨床医学 I ・臨床医学 II ・プリント配布	・講義	
	10							
	11							
	12							
10月	13	眼疾患	・子どもの視力 ・斜視、弱視、遠視	3歳児健診の目的を説明できる		・臨床医学 I ・臨床医学 II ・プリント配布	・講義	
	14	耳鼻咽喉疾患	・急性中耳炎 ・滲出性中耳炎 ・鼻血 ・扁桃肥大 ・アデノイド肥大	かぜ症候群に続発する小児疾患を挙げられる				
11月	15	皮膚疾患	・あせも ・水いぼ (伝染性軟属腫) ・とびひ (伝染性膿痂疹) ・じんましん ・おむつかぶれ ・カンジダ皮膚炎 ・赤ちゃんのスキンケア	皮膚のバリア機能と年齢の関係を簡単に説明できる		・臨床医学 I ・臨床医学 II ・プリント配布	・講義	
	16							
	17							
12月	18	急病時の対応	・熱性けいれん ・熱中症 ・異物誤飲 ・救急受診の目安と判断	緊急性が高い病気とそうでない病気の判断がつく		・臨床医学 I ・臨床医学 II ・プリント配布	・講義	
	19							
1月	20	小児医療	・ディストラクション技法 ・熱の測り方 ・薬の上手な飲ませ方 ・内服補助グッズの活用 ・親の処置参加 ・プレネイタルビジットとは ・小児医療費助成制度 ・院内感染対策	子どもの不安や恐怖を軽減する技法について説明できる		・臨床医学 I ・臨床医学 II ・プリント配布	・講義	
	21							
2月	22	後期試験	【出題範囲】 ・4月～6月の授業内容		後期試験			
	23							
成績評価方法	項目	期末試験	平常試験	課題提出率	課題内容	出欠状況	授業態度	
	割合	0.9	0.1					
		資格取得等						

平常試験:授業内に実施する試験 課題:実習、演習、宿題等 課題提出:課題の提出率 課題内容:課題の出来具合
上段の評価:評価する時期と評価方法を必ず記入